



グリーンソーシングポリシー

2012年12月

環境管理に関するピレリのアプローチは、国連グローバル・コンパクトに依拠するものである。ピレリは2004年よりアクティブメンバーとして、「環境と開発に関するリオ宣言」に賛同している。

具体的には、グループレベルにおいて持続可能性（サステナビリティ）ポリシー

¹を採用し、これによって当グループの業務および製品のライフサイクルを通じた環境への影響を評価し、低減する努力をするというものである。責任を持って原料と天然資源を利用し、未来の環境と世代のための持続可能な成長に貢献する目的を持っている。

このグリーンソーシングポリシー

²を通して、ピレリでは原料、資産、サービスの調達に関して、さらなる環境フットプリントの削減を目指すものとする。

特に原料、資産およびサービス購入においては、環境フットプリントが市場平均より影響が弱いものになるよう立証することを目的とし、特に「ゴミゼロからランドフィルへ」という哲学に一貫した、すべてのライフサイクル段階、特にライフサイクル管理に注意を喚起していくものとする。

本ポリシーはあらゆる分野における調達および購買について、社内オペレーションガイドラインを通じて、具体的に実行されるものとする。

特に「削減」「再利用」「再生」のコンセプトについては、原料、資産、サービスの調達の企業モデルが、社内のみならず第三者によって計画された場合にも反映されるようにしなければならない。

ピレリではサプライヤーにも、そのサプライチェーンの調達モデルにおいてグリーンソーシングポリシーを採り入れるよう、積極的に呼びかけていく。

本ポリシーはすべてのグループ企業に向けて発表され、それぞれの国の言語によって普及されるものとする。

ピレリ社社長
マルコ・トロンケッティ・プロヴェーラ
Marco Tronchetti Provera

¹グループの持続可能性（サステナビリティ）ポリシーとは次のものを指す：「倫理規定の価値」、「健康、労働安全および権利、環境のための社会的責任ポリシー」、「品質ポリシー」。

²ピレリでは「グリーンソーシング」を「天然資源に対する影響が市場平均より弱い方法で生産および使用された資産およびサービスの調達」を実行することとする。